

パラリンピックを見て
群馬群馬はつば小学校 五年ごねん 豊田とよだ 隼士はやと

今年、東京オリンピックが開かれ、テレビで見ました。ほくも家族といっしょにテレビで見ました。日本もたくさんメダルをとっていました。ほくも少しうれしい気持ちになりました。ある日、パラリンピックの水泳で銀メダルをとった人のニュースを見ました。その人は女子背泳ぎ100メートルに出場した史上最年少メダリストの山田美幸さんという人でした。

山田さんは中学3年生で、生まれつき両うでがなく、両あしも長さがちがうそうです。手で水をかくことが出来ないのに、とうや、泳ぐのかなと、しぎに思っていました。下半身のキツリだけで進むのたえうです。ほくは両手両足を使ってもあんなに速く泳げないのに、山田さんはすごく速いスピードで泳いでいたのびんとしておびくりました。ほくは両手が無かったら、泳ぐどころか水に入るのにもこわいと思います。なので山田さんは想像

もつかないぐりのだくさん練習をしたんだろ
うなと思います。

パラリンピックを見て、世界にはいろいろ
なしょう害をもった人が大勢いることが分
かりました。病気や急な事故で笑や足を切だ
んした人もいるそうです。でもみんな明るく
前向きにかんばっているように見えました。

ほくのおいしいちゃんもしょう害者です。元
氣に大工の仕事をしていたのに、ある日とつ
せんのうの病気で動けなくなってしまうし

た。今はベッドと少しだけ車いすに棄る生活
です。ほくはまだ力が足りなくて車いすをお
したり持ち上げたりお手つだいが出来ないけ
れど、大きくなったら外に散歩につれてい
てあげたいなと思います。だから車いすの人
でも生活しやすくできるようにごめんを無く
したり、急な坂道でも上りやすいような工夫
がもっと増えるといいなと思います。